



日本とちょっと違うよ - 通訳者よもやま話 - Vol.14 英語担当 川瀬さん

日本では、「何これ？」と思うような薬は少ないですが、アメリカに住んでいたころ、私が驚いた「これが薬!？」と言いたくなるような薬たちを紹介しますね。

トップバッターはTums（タムズ）。半透明の容器にカラフルな1円玉ぐらいの大きさの平たい錠剤がドサッと入っています。パッと見はまるでラムネ、そして口に入れるともものすごくまずいのですが、実は制酸剤です。胸やけた時などに口の中でゆっくり溶かして服用します。



お次はAlka Seltzer（アルカセルツァー）。海外のドラッグストアや、ドラマの中で見たことがあるかもしれませんね。500円玉ぐらいの錠剤で、グラスの水にポンと落とすとシュワシュワ〜と泡が…昔懐かしい駄菓子屋の粉ジュース（分かる人には分かる??）を彷彿とさせます。いつ飲むのかというと、ずばり飲みすぎた日の翌朝。迎え酒ならぬ「迎えアルカセルツァー」で二日酔いも解消！アスピリンが入っているので頭痛にも効く便利な薬です。

大トリはPepto Bismol（ペプトビスモル）。ビジュアル的には一番インパクトがあります。全面ショッキングピンクのプラスチックボトルに、全く同じ色のドロドロの液体が入っています。胃腸症状全般の薬ですが、正直お腹が痛い時に飲むには勇気が必要かも？味は少し清涼感がありほのかに甘く…そうです、お子様用歯磨きの味です。



ポストコロナで久しぶりに海外にという方もいらっしゃるかと思います。ドラッグストアの店頭でお国柄が垣間見えたりするかも…とは言え、楽しい旅行中に薬のお世話にはならないのが一番ですね！

～ 桃スイーツの路面店 『MOMOROW West』 ～



東和エンジニアリングという社名からはちょっと想像できないかもしれませんが、当社には「テクノロジーと農業で人を繋ぎ、豊かにする」をコンセプトにした「東和AGワークス」という関連会社があります。元々は当社のSDGsへの取り組みから生まれ、山梨県を舞台に「スマート農業へのチャレンジ」を続けています。

その会社が先月、通訳センターのある関西支社ビルの1Fに桃スイーツのお店「MOMOROW West」をオープンさせました。山梨県春日居の自社農園で丁寧に育てた桃をふんだんに使ったスイーツの数々…メニューを見ているだけでもう幸せになります。スイーツ好きの方はぜひご来店ください！



↑ MOMOROW Westのウェブ
サイトはこちら

今月のピックアップ

「桃はお好きですか？」

関西支社1Fにオープンした桃スイーツの路面店『MOMOROW West』にちなんで、通訳センターのメンバーに「桃」について聞いてみました。結果から言うと…あまり海外の桃の話題が挙がってきません。

それもそのはず！そもそも桃は中国原産ですが、世界の主要生産国を見ると1位が中国、なんと全世界の60%以上です。2位のスペインが5%強、3位イタリアが4%強なので、本当にダントツです。ちなみに日本は22位、国内では山梨県がトップで福島県・長野県と続きます。日持ちが悪いこともあって、消費地もほとんどが生産国近くと言いますから、中国はまさに世界の「桃大国」なわけですね。

その中国では、桃に関する文化も花ざかりです。日本で「花」と言えば「桜」ですが、たとえば漢詩で「花」と言えば「桃の花」を指すことが多いです。紀元前に作られた中国最古の詩集「詩経」に「桃夭」という有名な詩がありますし、文学以外でも「桃は長寿の象徴」として今でもお誕生日には「寿桃（ショウタオ＝桃饅頭）」を食べます。

ただ個人的感想ですが、中国の桃は固くて「シャリシャリ」しています（ベトナムも同様とか…）。日本の桃は高品質で、台湾や香港では日本から輸入した水蜜桃が破格の高額でも大人気です。やっぱり美味しいものにはみんな目がないですね。

